

CASBEE[®] 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	京都東九条室町NKビル新築工事	階数	地上9F
建設地	京都府京都市南区東九条室町57番(一部)	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	185 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年5月 予定	評価の実施日	2019年3月6日
敷地面積	803.07 m ²	作成者	稲垣達也
建築面積	447.21 m ²	確認日	2019年3月6日
延床面積	2,996.47 m ²	確認者	小園貴幸



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

環境品質 G vs 環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 78%
③上記②以外の 78%
④上記+ 78%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.7

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.7

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.8

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.9

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<ul style="list-style-type: none"> まちなみや景観・周辺環境に配慮した建物配置、外観デザイン 快適なホテル室内環境の実現 		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> 客室内サッシは、T-2、ペアガラスを採用 局室は個別制御可能な空調計画 	<ul style="list-style-type: none"> ベンダー、ランドリ、スポンプレッサー等を設け、お客様が使いやすい計画 福祉客室を設け、バリアフリーに配慮した計画 	<ul style="list-style-type: none"> 敷地内に可能な限り緑化を行い、緑を感じるられる室外計画 緑化は、主に主要な南側道路に面して行うことで、周辺環境に配慮した計画
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> LED照明を採用 客室内サッシは、ペアガラスを採用 	<ul style="list-style-type: none"> 節水型器具の採用 	<ul style="list-style-type: none"> 前面道路からセットバックした建物配置とすることで、歩行者への圧迫感が少ないよう配慮 適切な台数の駐車場を敷地内に設け、周辺環境に配慮

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される